

No. 777

礼宮さま三歳に

63頁

11月30日は礼宮さまの満3歳のお誕生日。標準を上まわると成長ぶりで、元気に飛んだり、はねたりの毎日です。浩宮さまとは大の仲よし、何でもお兄さまの真似ばかり。やんちゃな二男坊殿下も、もうすぐお兄さま。およろこびに満ちた御一家です。

万国博へ急ピッチ

—大阪—

133頁

「人類の進歩と調和」がテーマの万国博を2年後に迎える地元大阪では、すでに万博ムードがいっぱい。会場の千里丘陵は未来都市の夢を盛った、各国の会場づくりがいま急ピッチで行なわれています。

佐藤改造内閣スタート

105頁

大学・安保・沖繩問題・物価抑制と前途に多くの難問をかかえて、佐藤改造内閣は11月30日スタートしました。田中幹事長、保利官房長官といった佐藤首相の切札を政府与党のカナメにし、外務・大蔵もそれぞれ実力者を配しました。大学問題には文教問題のエキスパート坂田さんが文部大臣。

「残る2年に政治生命をかける」という佐藤首相ですが、内外の情勢は目に見えてきびしくなるだけに、新内閣は前途多難であるといわれています。

苦悩する東大の行方

299頁

また、今日もケバ棒とヘルメットが構内をデモる。東大の紛争もすでに10ヶ月、こうした異様な集団のデモもすっかり日常化してしまいました。共闘派、反日共系学生の一日は朝のラジオ体操ではじまります。ヘルメットにマスクといった乱闘スタイルで、体力づくりに懸命です。一方大学側、新執行部の積極的な働きかけも学生側の拒否反応にあって立ち往生。しかたなく大学改革案をチラシにして学生に呼びづけることになりました。だが、いまのところ、スト終結のための対話復活は望みうす。東大はいま全員留年という最悪の事態にかかっています。